Creative Enzymes®

ヒト由来の再組換え前立腺酸性ホスファターゼ

Cat. No. NATE-1673

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ACPP、別名前立腺酸性ホスファターゼアイソフォームPAPは、細胞膜およびリソソームのタイプIインテグラル膜タンパク質であり、分泌型も存在します。ACPPの濃度は前立腺癌患者の血中で上昇しており、この酵素は前立腺癌の進行のマーカーとなっています。C末端にHisタグを融合させた組換えヒトACPPは、昆虫細胞で発現され、従来のクロマトグラフィー技術を用いて精製されました。
別名	前立腺酸性ホスファターゼ; PAP; 前立腺特異的酸性ホスファターゼ; PSAP; EC 3.1.3.2; ACP; 酸性ホスファス; 5'-ヌクレオチダーゼ; 5'-NT; エクト-5'-ヌクレオチダーゼ; チアミン一リン酸加水分解酵素; TMPase; PAPf39; ACPP; ACP-3, ACP3

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルス
形態	液体
***EC*番号**	EC 3.1.3.2
***CAS*登□番号**	9001-77-8
分子量	41.8 kDa
純度	> SDS-PAGEによる95%
活性	>100,000 ユニット/mg
濃度	0.5 mg/ml
エンドトキシンレベル	< 1.0 EU per/μg
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 5.0の条件下で1分間に1.0 nmolesのp-ニトロフェニルリン酸（pNPP）を加水分解する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	短期間（1-2週間）で4°Cで保存できます。長期保存の場合は、分注して-70°Cで保存してください。繰り返しの凍結と解凍のサイクルを避けてください。